

気候変動によって、スポーツにどんな影響が？

気温の上昇や大雨の増加、自然災害の増加の発生等、気候変動はスポーツの分野でもさまざまな影響を及ぼしています。実際に、気候変動によってスポーツの現場ではどのようなことが起きているのか、事例とともに紹介します。

気候変動の影響①

「猛暑日の増加」による試合の中止や延期

平均気温の上昇、真夏日や猛暑日の増加といった気候変動の影響で、熱中症のリスクが高まり、試合の中止や延期、開催時間の変更をせざるを得ないような事例が出ています。

事例①

2018年7月、愛知県刈谷市で開催が予定されていた東海社会人サッカーリーグ1部公式戦は、猛暑を理由として中止されました。

出典：スポーツニッポン(WEB)2018年7月22日



気候変動の影響②

「豪雨等の自然災害」による試合の中止や延期

気象庁の統計によれば、短時間の豪雨(1時間降水量50mm以上)の年間発生回数は増加傾向にあります。こうした短時間豪雨を始めとした自然災害の影響により、試合の中止や延期をせざるを得ないような事例が出ています。

事例②

地球温暖化の影響が指摘された、2018年7月の西日本豪雨。広島市のマツダスタジアムで開催が予定されていたプロ野球の広島対阪神戦が中止となりました。

出典：日刊スポーツ(WEB)2018年7月9日



気候変動の影響③

「降雪量の減少」による試合の中止や延期

気象庁の統計によれば、1日の降雪量が20cm以上となった年間日数は全国各地域で減少傾向にあります。こうした降雪量の減少により、雪を必要とするスポーツでは、試合の中止や延期をせざるを得ないような事例が出ています。

事例③

2021年1月、北海道札幌市では、開催が予定されていたクロスカントリーレースの大会は、雪不足のため中止されました。

出典：サンケイスポーツ(WEB)2021年1月2日



地球温暖化の進行に伴う気候変動の影響によって、
私たちの身近にあるスポーツを楽しむことができなくなるかもしれません。
私たちがいつまでもスポーツを楽しむためにも、
地球環境を守り続けることが大切です。